

人は人生のうちにどれだけの「出会い」があるのでしょうか。NPO法人 若い芽を育てる会の皆様との出会いは、私にとって大変大きなものでございました。

ヨーロッパから帰国し、2006年より日本での活動が始まって以来、全く名もなきテノールからこうして活動を続けさせていただいておりますのも、皆様に力強く支えていただけるからに他なりません。

「出会い」という言葉には、それによって何らかの感動や特別な変化がニュアンスとして含まれているように思います。先日9月20日、兵庫県川西市のみつなかホールにおいてベリーニ作曲の歌劇「清教徒」が公演され、私はアルトゥーロ役として出演致しました。テノールが地声で張り上げられる最高領域であるハイF（3点ハ音）音を要する難役でした。一方、私の結婚相手でもソプラノの坂口裕子さん（ユウコ）が演じるエルヴィーラという役は、このオペラの最大の見せ場といえる「狂乱の場」を要するこれもまた大変な難役でした。稽古も大詰めの本番4日前、オーケストラとの合わせ稽古の日、私は大失態を演じてしまいました。休憩中に舞台から客席に飛び降りた際、激しい捻挫をしてしまったのです。ほとんど人に見られておらず、また直ぐに立てましたので、それを隠したまま稽古を終えました。帰り道、なんと異変に気付かれていた坂口さんは、遠慮する私を尻目にドラッグストアを探され必要なアイテムを見付けてくださり、また、呑気な私に何度も何度も「明日はお願いだから病院に行ってください」と念を押してくださいました。



それにも関わらず私の足にとことんご配慮くださいました。寝たら直っているだろうと思っていた私ですが翌日立つことすらできず、すぐ教えていただいた病院へ。病院では即ギブスと言われましたが、お願いしてテーピングで固める処理をしていただき何とか歩くことが可能になりました。病院へ行ったおかげで何とか両足で立てたのです。後日、坂口さんにお詫びしましたら、「あのお怪我のことで私は逆に気持ちがひきまりました。ありがとうございます。」とおっしゃいました。

なんとということでしょう。。。私がこの作品の舞台に無事立てましたのは間違いなく坂口さんのおかげなのです。坂口さんのエルヴィーラは見事で、また3幕にあたる私たち2人の2重唱の後では拍手が1分以上もなりやまないという嬉しいハプニングもございました。

このお話をお伝えできる機会を作ってくださいまして誠にありがとうございます。私は、坂口さんのようにいざという時でもしっかり周りに配慮でき、喜びを皆で分かち合うために行動できる人間でありたいと切実に思いました。

出会いによって人生にかけがえのない息吹があたえられる、感謝です。

H26年 歌劇 トゥーランドットより
カラフ王子役



♪ 助成希望者を募集しています ♪

音楽、美術、演劇、映像、その他芸術文化に携わる方、ご応募お待ちしております。
助成内容等詳細は、ホームページ・事務局にお問い合わせください。



事務局



〒752-0966
電話(携帯)
携帯アドレス
E-mail
ホームページ

下関市長府亀の甲1-2-1
080-5626-2010
wakaime2010@ezweb.ne.jp
muto68120@yahoo.co.jp
http://ymat2010.org/

NPO法人 芸術・文化 若い芽を育てる会の、ホームページをリニューアルしました。とても素敵なので是非アクセスしてくださいネ〜



「若い芽創立5周年によせて」

磨けば光る若い芸術家の原石を発掘、支援し、育てることの第一歩を任意団体として踏み出したのが2009年2月でした。ピアニスト川田健太郎のサロンコンサート開催が活動開始のきっかけとなり、出会った若人1人1人の熱い思いに心動かされ、彼等を応援しようとサポーターになって下さった多くの方々のお蔭で、今日を迎えることができました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

多くの方々の支援と信頼に応えるために2010年2月NPO法人を設立いたしました。

助成金の公募も今年で5回目、地元下関はもとより全国からの応募がありました。当初は奨励賞のみでしたが、翌年から特別賞、昨年は会場の方々が選ぶオーディエンス賞を授与しております。また、梅光学院大学スタージェスホールで、公開審査を行うことができるようになり、会員の皆さまにも、最終審査に参加していただくことができるようになりました。

これまで、多くのメディア（新聞・テレビ・ラジオ）に、若い芽を育てる会の活動をご紹介いただき、またホームページを通し、多くの方に会の存在を知っていただけるようになりました。



平成26年7月5日、5周年記念イベントとして、奨励賞受賞者全員出演の、若い芽コンサート〜若い芽が生んだスター達〜を開催、ご来場の皆様から「素晴らしいだったよ 感動しました！」の言葉に、関係者一同嬉しく、また感激しております。会の継続は、受賞者がこれから もっともっとBIG になっていくことを応援することができます。

そして、まだ見ぬ可能性のあるスター達に 世に出るための、後押しができる団体の存在を 発信することになります。

今、若い芽達はそれぞれの道で活躍されています。「川田さんは、演奏家・大学講師・審査員など幅広く活動」「藤田さんは、これまでの活動を認められ藤原歌劇団で、H26.12月に下関市民会館でガラコンサートに出演」「松浦さんのテラコッタ彫刻は、独自の世界観を展覧会で発信」「尾形さんは、帰国後東京を拠点としコンサートを精力的に開催」「相本さんは、ソロコンサートを地元で開催」「野々村さんは、オペラ・独唱などコンサートに出演」「高橋さんは、来年国際コンクールにチャレンジ」と、明日への希望を輝かせて活動・活躍されています。

当会は、皆様と共に若い芸術家の応援、そしてサポーターの芸術への関わりの一環となれますよう、これまで以上に活動を深めてまいります。どうぞ今後とも、「NPO法人 芸術・文化若い芽を育てる会の一員」として、応援をよろしくお願い申し上げます。

第5回 奨励賞 受賞者2名決定 \(\odot\circ\odot\)/!

音楽・映像・その他の分野から11名の応募があり、奨励賞は、野々村彩乃さん(ソプラノ)と高橋優介さん(ピアノ)に決定。お二人には「助成金50万円」を贈りました。牛尾シズエ特別賞は、石井秀太郎さん(楽器製作)と井出崎優さん(サクソフォン)のお二人に決定しました。また、会場の皆さまが選ぶオーディエンス賞は高橋優介さんが選ばれ、高橋さんは奨励賞と併せての受賞となりました。



☆ 野々村彩乃 (ソプラノ) 下関市出身 東京在住
若い芽を育てる会のオーディションを受けてきました(*~*)
奨励賞いただきました。本当にありがとうございます!!
ジャンル問わず、若い芸術家を応援して下さる素晴らしい団体です。
こんな素敵な団体なかなかない中、自分の故郷、下関にこのような素晴らしい団体があっただけに嬉しいです! 野々村彩乃 ブログより

☆ 高橋 優介 (ピアノ) 千葉県出身 上野学園大学3年次在籍
この度は、とても嬉しい賞を本当にありがとうございました! 山口県の皆様はとても暖かい方ばかりで、とても幸せな時間を過ごせました。僕は、普段クラシック音楽を聴く機会がない方々や子供たちにクラシック音楽の良さを伝えるピアニストになるという夢のために日々練習しております。
来年、自分が人前でどれだけ通用するのか確かめるために、海外の国際コンクールに挑戦しようと思っております。今回の助成金はそのための費用に充てさせていただこうと思っております。音楽的にも人間的にもまだまだ未熟ですが、これからも精一杯がんばっていきますので応援よろしくお願いします!

☆ 石井秀太郎 (弦楽器製作) 宇部市在住
この度は、若い方々に混じって特別賞を頂き大変光栄に思っています。私はヴァイオリンなどの弦楽器を製作することを生業としておりますが、楽器というものはそもそも演奏家の手となり足となる道具にすぎないので、そこにスポットが当たることはほとんどありません。
ただ、よい道具を作ることは少なからずよい演奏を生み出す助けになることではないかと思い、日々製作しています。今回こういった形で製作の仕事を知って頂く機会を得たことは大変ありがたいことです。若い芽の活動は山口が全国に誇れるものだと思います。この賞に恥じぬよう、今後も目立たずともよい仕事ができるように精進していきたいと思っています。

☆ 井出崎 優 (サクソフォン) 山口県出身 上野学園大学3年次在籍
この度は、このような素晴らしい賞を頂けて、本当に嬉しく思っております。僕の大好きな山口という地で、僕の音楽活動をこんなに応援して下さる方がいるということは、本当に幸せなことだと思っています。
これからも皆さんの応援を励みにクラシック音楽、僕の演奏しているサクソフォンという楽器の良さを、少しでも多くの方に知っていただけるよう、これから地元での活動も含めて、東京でも頑張っていきたいと思っておりますので、これからもどうぞ応援よろしくお願いします。

5年間の歩み

- 2009年
 - ・芸術・文化 若い芽を育てる会 発足
 - ・設立総会
 - ・創立記念 川田健太郎ピアノリサイタル(主催)
 - ・ソプラノリサイタル横山典子&川田健太郎(後援)
- 2010年
 - ・平成21年度交歓会
 - ・NPO法人認定
 - ・4月~H23.3月 カモンFMラジオ(毎月第3金曜日クラシックコーナー出演)
 - ・第1回助成金 最終審査
 - ・奨学金授与式 下関市役所記者室に於いて
 - ・平成22年度通常総会&審査報告
 - ・川田健太郎&前山仁美DUOコンサート(後援)
 - ・パーヴェル・ネルセシアンピアノリサイタル(後援)
- 2011年
 - ・平成22年度交歓会
 - ・グラストップコンサート(後援)
 - ・東日本大震災チャリティーコンサート(後援)
 - ・第2回助成金 最終審査
 - ・平成23年度通常総会&助成金授与式
 - ・横山典子ソプラノリサイタル(後援)
- 2012年
 - ・平成23年度交歓会
 - ・川田健太郎ピアノリサイタル(主催)
 - ・川田健太郎ピアノリサイタル(後援)
 - ・藤田卓也New Spring Concert(後援)
 - ・NHKニュース番組で、当会の活動が紹介されました。
 - ・第3回助成金公開審査(最終審査)
 - ・TYSニュース番組で、当会の活動が紹介されました。
 - ・平成24年度通常総会&助成金授与式
 - ・J:COMテレビ下関「いきいき市民講座」に出演(8月8日~14日まで、毎日(1日2回放送))
- 2013年
 - ・平成24年度交歓会
 - ・NHKテレビ収録(事務局)
 - ・第4回助成金公開審査(最終審査)
 - ・NHKテレビ「情報維新やまぐち」で特集を組んで放送
 - ・平成25年度通常総会&助成金授与式
- 2014年
 - ・相本朋子ヴァイオリンコンサート(後援)
 - ・平成25年度交歓会
 - ・ドクターの奏でる音楽をあなたに(主催)
 - ・天空の調べ 3台のハープコンサート(主催)
 - ・平成26年度 通常総会&第5回助成金公開審査・授与式
 - ・NHKテレビ「維新やまぐち」で公開審査が放送された。
 - ・5周年記念「若い芽コンサート」(主催)
 - ・松浦孝テラコッタ彫刻展(後援)



◆主催 共催 後援◆



相本さんは、奨励賞を使ってコンサートを開催されました。



田村洋様に、NHKテレビドラマ10の面白裏話をお話いただきました。



ドクターズカルテットの演奏とトーク、すごく好評でした。



海峡メッセ展望ルームで夕日を背に3台ハープの演奏会素敵でした。



一年前から計画、全員のスケジュールを調整するのがとても大変でした。



松浦さんは、下関市立美術館で松浦孝テラコッタ彫刻展を開催しました。

琴線響魂(きんせんきょうこん)

Heartstrings Sound Soul

NPO法人「芸術・文化 若い芽を育てる会」に入会くださり その魂を とともに 響かせ合いながらの5年間 本当にありがとうございました。この5年間での 若者たちの活躍は 目を見張るばかりです。
そして 私たち 素人すくめのスタッフも それぞれに 自分にあった仕事を こなせるようになりました。
県内でも 有能な法人として おほめにあずかれる名譽は 皆さまのものです。
5周年の今年 多くのイベントを企画しましたのも 皆さんへ「有り難う」の気持ちを 伝えたい そんな一心からでした。
その結果が 7月5日(土)の 若い芽コンサート「若い芽が生んだスターたち」です。この会の礎ともなった 川田健太郎さんに始まり 全ての奨励賞受賞者が 一同に会した それは華やかで 情熱あふれるものでした。
ステージ上での彼らは それぞれの思いを 演奏で あるいは言葉で この会の存在が どれだけ活動の原動力になったかを 苦しむほどにつたえてくれました。
サポート会員の皆さま あなたの気持ちは しっかりと 若者へ 届いています。
この絆を大切に 次の世代にわたし切るまで 結びあった手は はなさないでください。
さいごになりましたが もう一度 あり。が。と。う。

御手洗 みよこ

第5回通常総会で、25年度の事業及び収支報告並びに26年度の事業及び事業予算の御承認を頂きました。

平成25年度 特定非営利活動事業会計収支計算書(H25.4.1~H26.3.31)				特定非営利活動法人 芸術・文化 若い芽を育てる会			
科目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計	科目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合計
I 収入の部				II 支出の部			
1 財産運用収入				1 事業費			
受取利息	153			支援活動事業(奨励金等)	650,000		
2 会費・入会金収入				人件費・謝礼金・会場設営・印刷費等	602,305		
会費年会費	2,375,500			文化活動主催・後援・総会・その他	207,131		
寄付金	212,000	27,000				537,844	537,844
3 事業収入				2 管理費			
文化活動主催・後援・総会等	185,000			印刷費	105,000		
4 その他の事業繰越金収入	152,000	441,000		事務費・通信運搬・HP・その他	411,880		
当期収入合計(A)	2,924,653	468,000	3,392,653	当期支出合計(C)	516,880		
前期繰越額	4,552,962			当期収支差額(A)-(C)	1,976,316	537,844	2,514,160
収入合計(B)			7,945,615	次期繰越予定額(B)-(C)			5,431,455